国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

がんばろう！東北

平成２８年２月２９日
東北地方整備局

海でつながる青函交流の玄関口
「みなとオアシス大間」を登録します！

本州最北端に位置する「大間港」は、全国的にも有名な「大間マグロ」の港として、多くの観光客が訪れる場所であり、３月２６日の北海道新幹線開業に伴い青函圏の交流の活発化が期待される中、下北地域の海の玄関口として一層の利用が期待される港です。

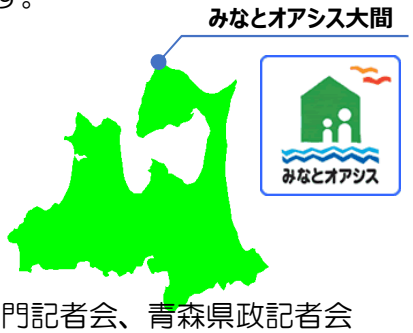
この度、港を活用した更なるにぎわい空間の形成に向け、大間町から、「みなとオアシス」の登録申請があり、大間港の観光･交流施設を『みなとオアシス大間』として登録することとなりました。

つきましては、登録にあたり登録証授与式を開催いたしますので、お知らせいたします。

※東北地方整備局では、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる港の施設や関連施設を「みなとオアシス」として登録しています。『みなとオアシス大間』は東北で１４箇所目（全国で８８箇所目）の「みなとオアシス」になります。

- 日　　時：平成２８年３月５日（土）　１３時３０分 ～ １５時００分
- 場　　所：青森県下北郡大間町大字大間字根田内１０番地
  津軽海峡フェリー大間フェリーターミナル
- 取材について：取材をご希望の報道機関の方は、別添の「取材申込書」により
  ３月３日（木）１８時００分までに事前申込をお願い致します。
  なお、当日の受付は１３時００分より行います。
  取材は担当者の指示に従って下さい。

【添付資料】（資料－１）みなとオアシス登録証授与式　式次第
（資料－２）会場案内図
（資料－３）「みなとオアシス大間」の概要
（資料－４）「みなとオアシス」の概要
取材申込書



【発表記者会】宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、青森県政記者会

【問い合わせ先】国土交通省　東北地方整備局　港湾物流企画室　盛田　貴仁
〒９８０－８６０２　宮城県仙台市青葉区本町３－３－１
tel：０２２－７１６－０００５　fax：０２２－７１６－００１７

国土交通省東北地方整備局
　港湾空港部　港湾物流企画室　盛田　　宛

申込先（FAX）022－716－0017

取 材 申 込 書

取材を希望する場合は、この様式により、FAXにてお申込み下さい。
申込み締切は、3月3日（木）18：00です。

平成　　年　　月　　日

所属記者会（所属する記者会に○をつけて下さい。）
・宮城県政記者会　　・東北電力記者会 ・東北専門記者会　　・青森県政記者会
会社名及び部署名
取材者の役職・氏名・連絡先
①代表者
【①代表者の連絡先（携帯番号等）】
②取材者

上記のとおり、取材を申し込みます。

（資料－１）

みなとオアシス大間
登録証授与式

日　　時

平成２８年３月５日(土)　午後１時３０分

会　　場

大間町　津軽海峡フェリー大間フェリーターミナル
（青森県下北郡大間町大字大間字根田内 10 番地）

式　次　第

一、開　　会
一、挨　　拶
一、来　賓　祝　辞
一、登　録　証　授　与
一、記　念　撮　影
一、大 間 町 長 の 挨 拶
一、大 函 丸 見 送 り
一、記　念　講　演
一、閉　　会

国土交通省　東北地方整備局
大　間　町

会場案内図

資料－2



登録証授与式
会場
細間崎
フェリー発着所
279
津軽海峡フェリー
大間フェリーターミナル
大間港
高磯崎
細間
蛇津道
おいの
狼丁
中山
大間
大間町
大間川
フェリー発着所
根田内崎
02/17 20416. 02

みなとオアシス大間　（資料－3）



みなとオアシス

「みなとオアシス大間」は青森県下北郡大間町に位置し、「津軽海峡交流エリア」、「大間港ブランド発信エリア」、「本州最北端エリア」の3つのエリアで構成されています。

「津軽海峡交流エリア」には、大間・函館航路のフェリーが発着する「大間フェリーターミナル」があり、本州と北海道の交流の場となっています。

「大間港ブランド発信エリア」には、イベント開催や特産品の販売が行われているキュウレイ（旧冷蔵庫）があり、イベント・グルメの観光拠点となっています。

「本州最北端エリア」には、津軽海峡を挟む北海道の山々を望むことができる「大間崎レストハウス」があり、絶好の眺望スポットとなっています。







①津軽海峡交流エリア

大間フェリーターミナル

本州と北海道を最短距離で結ぶ津軽海峡フェリーの大間・函館航路のフェリーが発着し、年間11万人の乗降客があります。フェリーの入港時には、まちおこしを行う「あおぞら組」がウェルカム旗振りなどでフェリー客を歓迎し、多くの旅行者に喜ばれています。

また、ターミナル内の食堂は、港の景色を眺めながら食事が出来るスポットとして、フェリー客だけでなく地元住民も多く訪れる場所となっています。



②大間港ブランド発信エリア

キュウレイ（旧冷蔵庫）

毎年マグロ漁が本格化する9月上旬から10月中旬の毎週日曜日には「日曜はマグロだDAY！」、10月下旬には「大間超マグロ祭り」が開催され、大間マグロの解体ショー、解体マグロ即売、特産品販売が行われています。

また、毎年8月14日にはキュウレイを含む一帯において「ブルーマリンフェスティバル」が開催され、マグロ解体ショー、舟競争大会、郷土芸能である津軽海峡海鳴り太鼓の演奏、花火大会などが行われ、多くの来場者があります。





③本州最北端エリア

大間崎レストハウス

本州最北端の岬にあり、周辺区域は下北半島国定公園に指定されています。晴れた日は函館山から恵山岬（えさんみさき）にかけての北海道の海岸が目前に広がって見えます。

また、“まぐろ一本釣りの町　おおま”のモニュメントや“本州最北端の碑”が建っており、大間観光の絶好の撮影ポイントとなっています。

※営業期間 4月28日～10月31日まで
（冬期間は休業）





『みなとオアシス』は市民・観光客の交流拠点です♪

（資料－4）

○「みなとオアシス」は市民や観光客のための「みなとの交流施設」です。（国土交通省で認定・登録）

※『みなとオアシス大間』は全国で88箇所目（東北で14箇所目）の登録。

○海や港に訪れる観光客の交流やイベント等の開催の拠点として、地域の活性化に貢献します！

登録の要件

○市民や観光客が交流できる空間
○市民や観光客に地域情報や観光情報の発信機能
○適切な管理運営
○イベント等、みなとの賑わいを作り出す継続的な活動（地域住民参加が前提！）

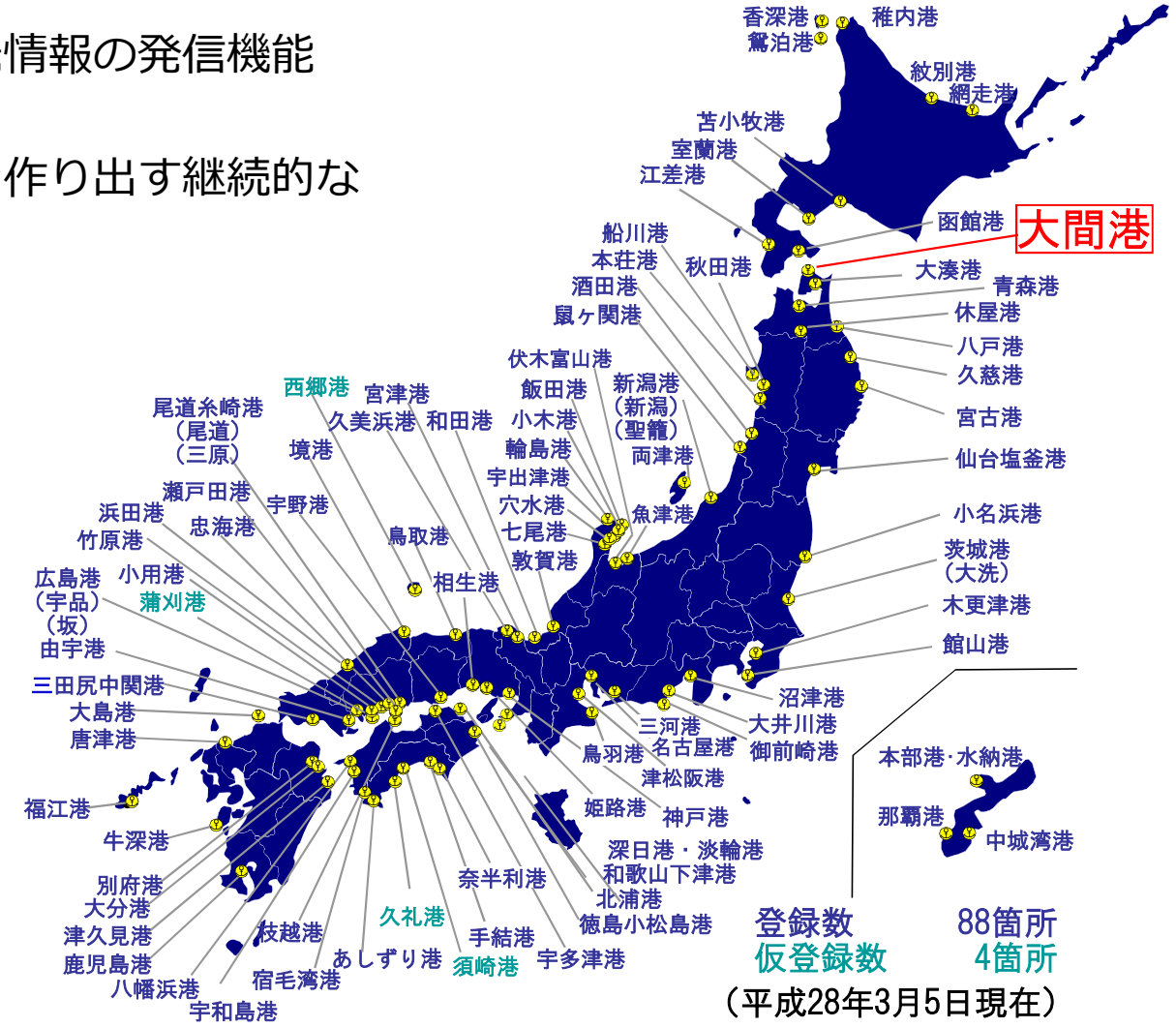
運営主体

○港湾管理者
○市町村
○NPO団体　　ほか

みなとオアシス

シンボルマーク

全国のみなとオアシス



（平成28年3月5日現在）